

最高裁判所 契約監視委員会 議事概要

開催日及び場所	平成30年7月30日(月) 最高裁判所中会議室
委員	委員長 野澤正充(立教大学大学院法務研究科委員長) 委員 根本清(元会社員) 委員 山内久光(弁護士)
対象期間	平成29年10月1日～平成30年3月31日
契約の現状等の説明	平成29年度下半期における契約状況について
個別審議案件 (5件)	契約件名: 回転椅子の購入 契約金額: 20,227,860円 契約締結日: 平成30年2月9日 契約方式: 一般競争入札 契約庁: 最高裁判所
	契約件名: 少年事件処理システムの刑法改正対応改修 契約金額: 4,622,400円 契約締結日: 平成29年12月1日 契約方式: 一般競争入札 契約庁: 最高裁判所
	契約件名: 期日進行管理プログラム(簡裁民事事件用)等用サーバ機等の賃貸借及び保守 契約金額: 18,468,000円 契約締結日: 平成29年10月26日 契約方式: 一般競争入札 契約庁: 最高裁判所
	契約件名: パンフレット「専門委員の手引」ほか16点の製造 契約金額: 1,780,947円 契約締結日: 平成29年10月18日 契約方式: 一般競争入札 契約庁: 最高裁判所
	契約件名: 国際知財司法シンポジウム2017における宿泊施設提供業務(単価契約) 契約金額: 1,355,200円 契約締結日: 平成29年10月12日 契約方式: 性質随意契約 契約庁: 最高裁判所
次回抽出委員の指定	山内委員を次回委員会における審議案件抽出委員に指定

委員からの意見・ 質問，それに対する 回答等	別紙のとおり
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし

(別紙)

質 問 ・ 意 見	回 答 等
<p><b>個別審議案件</b></p> <p>(1) <u>回転椅子の購入</u></p> <p>(問) 年度の予算で調達することが決まっている場合は、調達スケジュールを前倒し等することによって、余裕のある調達スケジュールを設定し、入札業者を増やすことが可能であると考えられるが、本件はそのような対応は難しかったのか。</p> <p>(意見) 本件は、物自体の値段も高く、数量も多いため、参加できる業者は限られる上、業者としても利益の出にくい案件かと思われるので、致し方ないと考える。</p> <p>(2) <u>少年事件処理システムの刑法改正対応改修</u></p> <p>意見なし</p> <p>(3) <u>期日進行管理プログラム(簡裁民事事件用)等用サーバ機等の賃貸借及び保守</u></p> <p>(問) 従来からあったシステム用のサーバ機のリース期間が平成30年に満了するため、新たに置き換えるものか。</p> <p>(問) 前回も今回同じ業者が落札しているのか。</p> <p>(問) 各社の見積書の内訳は、リース料が大部を占めているのか。また、一番競</p>	<p>(答) 本件は年度当初から計画されていたものではなかったため、そのような対応をすることは難しかった。</p> <p>(答) そのとおりである。</p> <p>(答) 異なる業者が落札している。</p> <p>(答) リース料と納入作業料が内訳の多くを占めており、これらが競争の一</p>

<p>争が働いたのはリース料の部分か。</p> <p>(4) <u>パンフレット「専門委員の手引」ほか16点の製造</u></p> <p>(問) 業者は原版から作成するのか。</p> <p>(問) 調達数の違い等を理由に市場価格方式を採用しているとのことだが、過去実績を採用することは難しいのか。</p> <p>(5) <u>国際知財司法シンポジウム2017における宿泊施設提供業務（単価契約）</u></p> <p>(意見) もっと早い時期から準備を行う必要があったと思われるが、そもそも本件の条件を満たす宿泊施設を確保することは難しく、仮に確保できないということになると国際的な信用問題になるため、競争入札には馴染まないと考える。</p>	<p>番働いた部分になる。</p> <p>(答) データを業者に渡して印刷するため、原版から作り直す必要はない。</p> <p>(答) 同じ業者であっても、前年度と比較して入札額を上げることもあるため、過去実績は採用しづらい。</p>
---	---